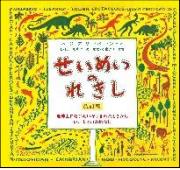
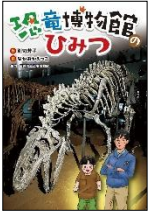
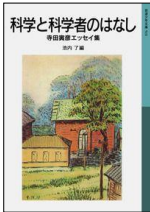


小学校高学年向け 司書からの 夏の おすすめ本 2026 草津市立図書館 		『せいめいのれきし』 バージニア・リー・バートン／文・絵 岩波書店 EI 地球上にいきものが誕生してから、私たち人間の時代になるまでの長い長い生命の歴史の発展を物語ります。遠い話のように思える地球の歴史が現代へ、さらに未来へとつながっていくことが実感できる絵本です。 	『図書だよりとひみつのノート』 あかね じゅんこ／作 さ・え・ら書房 913.67 陶子と千絵梨は親友で、ひみつの交換ノートをしている。なんでも言い合える仲だったけど、最近なんだか「ちがう」ところがあって、距離ができてしまっているみたい。どうしたらずっと仲良しでいられるんだろう。 	『ずっと空を見ていた』 いずみ けいこ／作 あかね書房 913.4 理央はお父さんはいないけど、家族と楽しくくらししていた。となりの家には一つ年上の真吾がいる。中学受験になやむ友達や、家族とはなれて住む転校生とすごすうちに、理央の考えにも変化があらわれる。 
『バベルの教室』 いぬい ルカ／著 PHP研究所 913.64 夏休み直前に先生から『バベルの呪い』をかけられた六年一組の二十四人は、お互いの話す言葉が宇宙語みたいで通じなくなってしまった。生徒たちは呪いを解除するために『十二の共通単語』を必死に探し始める。 	『ぼくへのレファレンス』 いわさき まさえ／作 国土社 913.64 図書館の職場体験中だったリョウのもとにナゾの少年が現れ、「調べてもらいたい」と暗号のような紙をわたしてきた。意味の分からない質問にとまどいながらもリョウは気になり、図書館で調べてみることにする。 	『いいたいことがあります！』 うおずみ なおこ／著 偕成社 913.67 親は子どもと必ず分かり合えると信じていて、いつも自分が絶対に正しいと思いこんでいる。でも、正しさはひとつじゃない。陽菜子はある女の子との出会いをきっかけに、親との向き合い方を考えるようになる。 	『草の上で愛を』 じんさき そうこ／著 講談社 913.7 主人公は、頭が良くてしっかり者のチイちゃんを尊敬しています。ある日、チイちゃんからとつぜん競馬場に行こうとさそわれました。おどろいたけど、その理由を聞くうちに興味がわいて、一緒に行きたくなります。 	『夏を走る！』 たかだ ゆきこ／作 あかね書房 913.67 気の弱い小4のみっちは、幼なじみの奈月から夏休みの「大佐渡一周サイクリングキャンプ」に誘われる。大也も参加し、みっちたち3人は次々と起こるトラブルに立ち向かう！130キロの道のりを走りきれるのか。 
『恐竜博物館のひみつ』 べっし よしこ／作 ぶんけんしゅつぱん 文研出版 913.64 博物館で働く天野研究員には秘密があった。カメの化石と話したり、夜おそく動き回る恐竜たちの世話をしていたりする事だ。ある日、博物館で小学生の博文と出会ったことで、ふたりに友情が芽生えていく。 	『すこしずつの親友』 もりの こみち／著 こうだんしゃ 講談社 913.64 わたしが「親友のつくり方」をたずねると、伯母さんはいろんな国を旅して出会った「すこしずつの親友」のことを話してくれた。一度きりの出会いだとしても、心に残り、忘れられない人たちとのめぐりあいの物語。 	『チング!』 やつか すみこ／作 こみねしゅてん 小峰書店 913.64 夏休み、ぼくとチチ（父）は思わぬことから韓国へ行くことに。目的地も泊まる場所も行き当たりばったりの旅で出あったのは、おいしい料理に優しい人たち。船で渡った島では、友だちもできたんだ。 	『花に風』 よしの まりこ／作 吉野 万理子／作 理論社 913.63 夏帆が通ういけばな教室には、ちょっとイヤミな先輩がいる。せっかく夏帆が気に入っていった花を直したり、態度が気に入らないと強い口調で説教をしたりする。これってスクールハラスメントじゃないの？ 	『なぜ、穴を見つけるとのぞきたくなるの?』 いしかわ まさと／著 あさひしんぶんしゅつぱん 朝日新聞出版 031 「動いちゃダメ」と言われると、くすぐったくなるのはなぜ?」「虹のふもとは行けないの?」なんとなく気になる50のギモンに科学者が答えてくれたよ。みんなが気になるギモンの答えを一緒に考えてみよう! 
『科学と科学者のはなし』 てらだ とらひこ ちよ 池内 さとる／編 いわなみしよてん 岩波書店 404 明治生まれの物理学者寺田寅彦は、身近なことをよく観察してたくさん人の随筆を残しました。この本はそれらをまとめたものです。自然から電車の混雑のことまで、私たちのまわりのふしぎなことを書いています。 	『富士山のまりも』 かめだ よしげ ぶん 亀田 良成／文 ふくいんかんしよてん 福音館書店 474.26 小学5年生の良成は、富士山の山中湖で、自由研究用にまりもを持ち帰った。その後まりもは、母の手で育てられた。50年後、山中湖でまりもが絶滅しかけた時、良成のまりもがその危機を救うことになる。 	『100年後の水を守る～水ジャーナリストの20年～』 はしもと じゅんじ ちよ 橋本 淳司／著 ぶんけんしゅつぱん 文研出版 517 水ジャーナリストの活動をしている橋本さんは、奮闘しながら世界の水問題を分かりやすく伝えていく。水の大切さに気づく「水の授業」やワークショップ、水の不思議な性質など分かりやすく学ぶことができる。 	『日本庭園を楽しむ絵本』 おおの やよい たく 大野 八生／作 あすなる書房 629.21 日本庭園について知っていますか? 石の置き方一つ取っても、意味があります。「枯山水」「砂紋」など、ふだんあまり知ることのない日本庭園や、季節の庭をイラストでわかりやすく解説しています。 	『消えたモナ・リザ』 ニコラス・デイ／作 しょうがくかん 小学館 720.67 名画『モナ・リザ』を世界的に有名にしたのは、ある盗難事件でした。事件を追いながら、作者レオナルドやモデルの女性の人生をたどります。数奇な運命と謎の正体、ハラハラドキドキの芸術ノンフィクションです。 